

# ルーレットのルール

※手抜きですけど許してください

## 1. 進め方

### ゲームの進行





- 1 カジノディーラーからの『プレイスユアベット』（賭けてください）の合図でゲームがスタート。
- 2 ベットティングエリアにチップを賭けてください。※「賭け方（ベットティングエリア）と倍率」参照
- 3 カジノディーラーからの『スピニングアップ』（ボールを回します）の合図でカジノディーラーがウィールにボールを投入します。
- 4 カジノディーラーからの『ノーモアベット』（締切です）の合図で賭けを締め切ります。
- 5 ボールが落ちた数字が当選番号となり、カジノディーラーがマーカーで当選番号を印します。
- 6 外れてしまったチップをカジノディーラーが順番に回収していきます。
- 7 当選したチップに対して、順次配当が付けられます。
- 8 配当終了後、カジノディーラーがマーカーをはずすと1ゲーム終了の合図になります。

再度、手順【1】から繰り返しゲームを行います。

## 2. 倍率

本来はもっと高いのですが同じにしてしまうと価値が覆ってしまうので低めにしています。

インサイド ベット	0	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36	2 to 1
		2	5	8	11	14	17	20	23	26	29	32	35	2 to 1
		1	4	7	10	13	16	19	22	25	28	31	34	2 to 1
アウトサイド ベット	1st 12				2hd 12				3rd 12					
	1-18	EVEN						ODD		19-36				

この二つについては後程説明します。下記の賭け方も後程画像付きで説明します。

## インサイドベット

一つの数字に賭けるストレートアップは 10 倍

隣り合う二つの数字に賭けるスプリットベットは 8 倍

縦一列の三つの数字に賭けるストリートベットは 7 倍

一点で重なり合う四つの数字に賭けるコーナーベットは 6 倍

00、0、1、2、3 の五つに賭けるファイブナンバーは 5 倍

※上のファイブナンバーはアメリカンルーレットの場合のみ

隣り合うストリート（縦 3 つ）に賭けるシックスウェイベットは 4 倍

## アウトサイドベット

12 個ごとに区切られた数字にベットするダズンベットは 2 倍

上段、中段、下段の 12 個ごとに区切られた数字にベットするコラムベットは 2 倍

奇数か偶数かを予想して賭けるオッドイーブン は 1.5 倍

1 から 18 のローか 19 から 36 のハイのどちらかを予想するハイローは 1.5 倍

赤色・黒色のポケットどちらに入るかを予想する赤 or 黒は 1.5 倍

## 3. 賭けれる枚数

最低枚数は 100P～

最大枚数の上限を撤廃します。

#### 4. インサイドベットとアウトサイドベット

##### インサイドベット



ストレートアップとは、ポケットの数字1つに賭けることを指します。例えば「1」のストレートアップに賭ける場合は、「1」の真ん中にチップを置きます。倍率 10 倍 ルーレットの中で最も高いです。



スプリットベットとは、隣り合うポケットの数字2つに賭けることを指します。例えば「1・2」のスプリットベットに賭ける場合は、「1」と「2」の間にチップを置きます。倍率は18倍となっています。

なお、スプリットベットは隣り合うポケットでしかチップを置くことはできません。1と36でスプリットベットがしたい！という時は、賭け金を半分にしてそれぞれストレートアップでベットしてください。



ストリートベットとは、縦の一列のポケット3つに賭けることを指します。例えば「1・2・3」のストリートベットに賭ける場合は、「1」の左端にチップを置きます。倍率は12倍となっています。

こちらも一列になっている組み合わせしか対応していないため、3・4・5でストリートベットがしたい！という場合は、賭け金を3分の1ずつに分けてそれぞれストレートアップでベットしてください。



アメリカンルーレットのみベットが可能な「ファイブナンバー」は、0・00・1・2・3の5つに賭けることを指します。ファイブナンバーをベットする際は、「0」と「1」の間の左端にチップを置きます。0と1の真ん中にチップを置くと、0-1のスプリットベットとみなされる場合があるので注意しましょう。

なお、ファイブナンバーの配当は「7倍」となっており、**アメリカンルーレットの中で最も期待値の低い賭け方**となっています。あまり使わない方が賢明と言えるでしょう。



シックスウェイベット、もしくはダブルストリートベットとは、隣り合う2つのストリート、合計6つのポケットに賭けることを指します。

例えば「1, 2, 3, 4, 5, 6」のシックスウェイベットに賭ける場合は、「1」と「4」の間の左端にチップを置きます。1と4の真ん中にチップを置くと、1-4のスプリットベットとみなされる場合があるので注意しましょう。倍率は6倍となっています。

## アウトサイドベット



「ダズンベット」とは、12個ごとに区切られた数字にベットする方法です。

そもそも「ダズン」（日本語では「ダース」と呼ばれます）には12個という意味があり、最初の12個（1-12）のことをファーストダズン、真ん中の12個（13-24）のことをセカンドダズン、最後の12個（25-36）のことをサードダズンと呼びます。

その3つに区切られているエリアのうち、どのエリアの数字がヒットするかを予想する方法となっています。倍率は3倍です。





「コラムベット（カラムベット）」も12個ずつに区切られた数字にベットする方法ですが、ダズンベットと分け方が異なります。

ルーレットのレイアウトは「3段×12列」に区切られており、合計36個の数字が12個ずつ3段に分かれています。



オッドとは「奇数（1, 3, 5, …, 35）」、イーブンとは「偶数（2, 4, 6, …, 36）」という意义があり、ヒットするポケットの数字が奇数か偶数かを予想して賭ける方法です。ちなみに「0」も数学的には偶数ですが、0に入ってもオッドもイーブンも負けとなります。倍率は2倍です。



36個の数字を大きさに半分に分けて、小さい方（1-18）が「ロー」、大きい方（19-36）が「ハイ」と呼ばれます。ヒットするポケットの数字がハイ・ローのどちらになるかを予想して賭ける方法です。倍率は2倍です。



「0」を除き、36個のポケットは赤色が黒色で分けられています。ただし、番号順に赤→黒→赤→黒…と色分けされているわけではなく、以下のように色分けされています。

- 赤… 1, 3, 5, 7, 9, 12, 14, 16, 18, 19, 21, 23, 25, 27, 30, 32, 34, 36
- 黒… 2, 4, 6, 8, 10, 11, 13, 15, 17, 20, 22, 24, 26, 28, 29, 31, 33, 35

ただ、ルーレット自体は赤→黒→赤→黒と色分けされているので分かりやすいです。この赤色・黒色のポケットのうち、どちらに入るかを予想して賭ける方法が「赤/黒」です。倍率は2倍です。

※シフトを覚えてしっかり時間を見て行動しましょう。

※ポイントに小数点以下の数字が生まれたら小数第一位を四捨五入。

※一試合 3 ゲーム。

※ポイント（コイン）を奪う人たちがいたらその場で退場させる。